



令和 5 年度



都北造形教育研究会公開保育資料



学校法人栄光学園

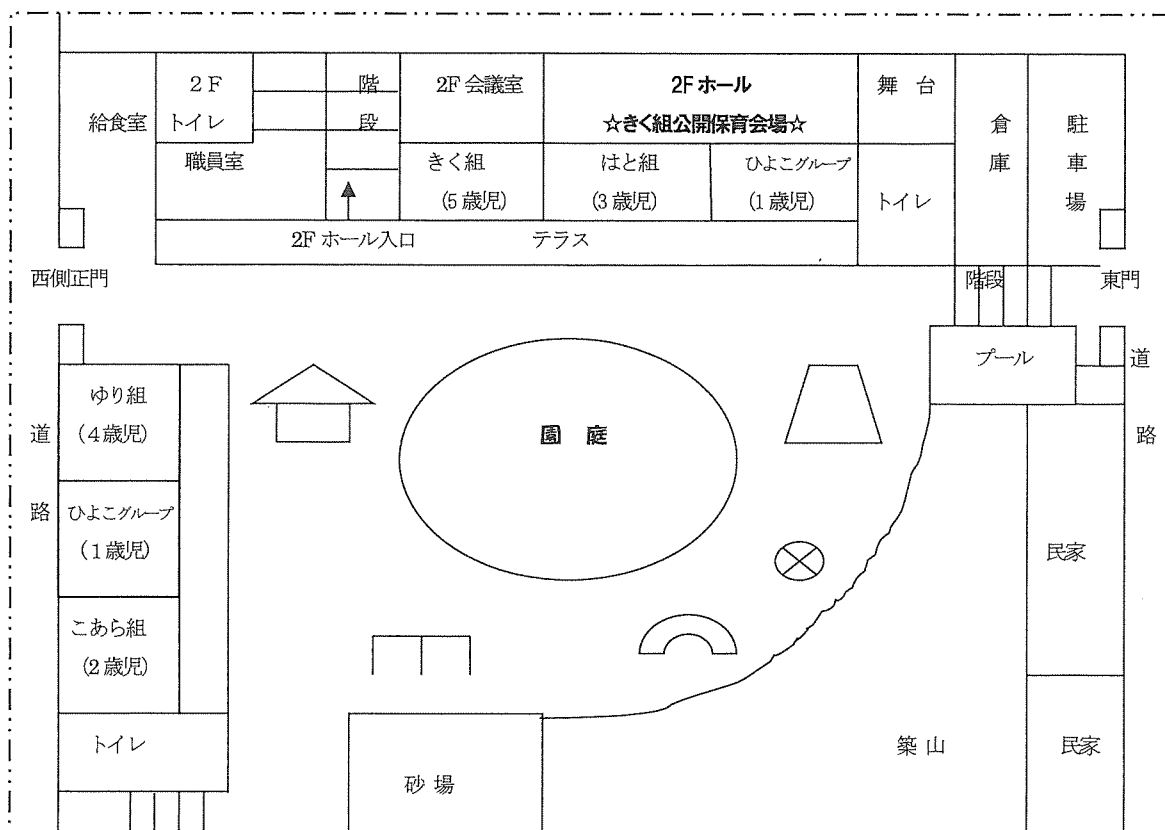
妻ヶ丘幼稚園



目 次

- ◎ 都北造形教育研究会開催要項・・・・・・・・・・ 2
 研究主題 ・ テーマ ・ 日程
- ◎ 本園の保育方針・・・・・・・・・・ 3
 教育目標 ・ 保育方針 ・ 主題設定理由
- ◎ これまでの活動・・・・・・・・・・ 4
- ◎ 公開保育指導案・・・・・・・・・・ 5
- ◎ 研究協議会、ふせんの使い方について・・・・ 6

会場案内図



都北地区造形教育研究会（幼保部会公開保育）要項

1 主 催

都北地区造形教育研究会

2 日 時

令和6年2月8日（木） 10時00分から11時30分

3 会 場

学校法人栄光学園 妻ヶ丘幼稚園

4 研究主題

「表現の多様性が響き合う造形教育」

～幼保小中のつながりを意識したモダンテクニックを通して～

5 テーマ

「子どもたちが色々な素材に親しみながら、自分なりに楽しく造形活動に取り組むには、どのような環境作りや援助が必要か」

6 日 程

時刻	9:30~	10:00~10:45	10:45~11:00	11:00~11:30
内容	受付	公開保育（きく組：5歳児） 場所：2Fホール	休憩 ※研究協議会準備	研究協議会 及びまとめ (2階ホール)

本園の保育方針

1 教育目標

本園は、宗教的雰囲気の中で幼児が心身ともに健康で自主性に富み、調和のとれた子どもを育てることを目的としています。

- * 健康でよい習慣を身につける
- * 豊かな情操を養い、思いやりの心を育てる
- * 思考力の芽生えを培う
- * 創造性を豊かにする
- * 自主性や自律の態度を養う

2 保育方針

子どもが安心感を持って生活でき、子どもの育ちの原動力である「あそび」を大切に考え、子どもが十分に遊びこむことができる環境を作り、「あそび」を通して子ども同士のコミュニケーションを深め、協調性・集中力・忍耐力・想像力を養うと同時に心を大切にする保育を目指しています。特に次の7つのことを大事にしたいと考えています。

- ① 健康でよい習慣を身につける
- ② 喜び、感謝し、感動する心をもつ子ども
- ③ 自分でやってみようという意欲と工夫をする子ども
- ④ 友達と遊ぶのが大好きで、人を思いやる子ども
- ⑤ 物を大切にする子ども
- ⑥ 人の話をよく聞き、自分の思っていることをはっきり伝えられる子ども
- ⑦ いのちを大切にする子ども

3 主題設定理由

一年を通して、廃材遊びや製作活動に進んで取り組む子どもが多く、その姿から様々な技法や色々な素材を用いた活動を提案・設定してきた。それらの経験を積み、更に自分たちのアイデアも出し合いながら製作活動に広がりが見られるようになってきている。最近、友だちとの関係が深まる中で、メディアや兄弟等、周りから吸収した言葉を生活の中で使い、時には相手を傷つけてしまうなど言葉のトラブルも増えてきている。そこで、「ふわふわとちくちく」の絵本を読み、言葉について皆で考える時間を設けてきた。今回、「ふわふわ」と「ちくちく」の言葉からイメージされることを、色々な技法に取り組みながら、自分なりに表現することを楽しんできた。製作活動を通して、言葉の使い方を皆で振り返る機会につながると共に、相手の気持ちにも気づき、残り少ない園生活を楽しく過ごしてもらいたいと思い、本主題を設定した。



これまでの活動



マーブリング

絵の具が
広がってるー！

染め紙



デカルコマニー



どんな色に
しようかな～



ふわふわことばや
ちくちくことばを
手紙に見立てて
ポストに入れて
遊びました！
友だちと相談して
書いていました♪

色が混ざったよ！



言葉の周りに、イメージした
色を塗りました！



＜保育指導案＞

5歳児 きく組

男児 11名 女児 10名 合計：21名

【担任】岩松紗恵 【副担任】宮川 茜

本日の活動	“ふわふわの木”を作ろう			
ねらい	いろいろな製作の方法を自分で選んで取り組み、気持ちを色や形で表現することを楽しむ			
時間	主な活動	予想される幼児の姿 反応	指導上の留意点	環境構成
10:00	<ul style="list-style-type: none"> ・“ちくちくの木”の製作の振り返りをする ・ふわふわの言葉について振り返りをする ・活動の流れを確認する ・コーナーの説明を聞く 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと以前見つけた言葉について話し合う ☆前はこの色に塗ったよ！ ☆〇〇って言われて嬉しかった！ ☆どれで作ろうかな ☆どんな色にしようかな 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉にすることが難しいイメージを保育者が言葉にすることで、意見交換をスムーズに行えるようにする ・子どもたちがイメージして出てくる言葉に共感し、活動への意欲が持てるようにする ・今日の活動について話をし、期待が高まるように声かけをする ・各コーナーの製作方法を振り返りながら、見本を見せ、自分なりにできるよう配慮する 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちの意見を聞けるように円になる
10:10	<ul style="list-style-type: none"> ○“ふわふわの木”の製作を始める ・画用紙に製作したり、廃材を使って製作し、木の土台に貼り付けていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・やりたいコーナーへ行き、ふわふわをイメージした木の色を製作する ☆どれにしようか迷う・・・ ☆色を混ぜてみようかな ☆うまくできるかな ☆絵の具の量が多いと下に垂れちゃうな ・できたものを友だちに見せたり、真似をして作ろうとする ・好きな廃材で気持ちの形を作ってみたり、色を付けてみる ☆どうやって貼り付ける？ ☆落ちないようにするにはどうしたらいいかな ☆まだやりたい・・・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージが難しい子どもには、絵本を見て振り返りをしたり、声かけをする ・個人に合わせて、声をかけながら無理なく参加できるようにする ・工夫しているところを具体的に認めたり、全体に伝えることで自信に繋げながら、意欲的に取り組めるようにする ・友だち同士のやりとりを見守り共感する ・子どもたちから出てくるアイデアを受け止めたり、紹介しながら友だちの作品にも興味を持って取り組めるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ＜コーナー＞ ・フロッタージュ ・デカルコマニー ・コラージュ ＜廃材＞ ・ボタン ・綿 ・端切れ ・毛糸 ・緩衝材 など ・さまざまな廃材を置き、イメージを自由に表現できるようにする ・“カラフルなひとりごと”の絵本を用意し、イメージが膨らむようにする ・接着できるものをいくつか用意し、使い方を考えながら工夫できるようにする ・手ふきタオルを十分に置いておく
10:35	<ul style="list-style-type: none"> ○活動の振り返りをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がどんな気持ちをイメージして色や形を作ったか、発表したり、友だちの作品にも注目する ・困ったことや次にやりたいことを話す 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの色や形を認め合い、みんな違っていいことを伝える ・工夫できていたところを話し合い、達成感を感じながら、今後の活動にも期待が持てるようにする 	

公開保育後の研究協議会 《11：00～11：30》

司会進行 清涼幼稚園 福留 郁子 先生

1、開会のことば 司会者

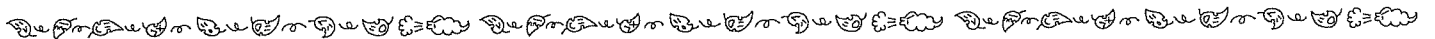
2、挨拶
開催園園長 妻ヶ丘幼稚園 内山 強 園長

3、保育者より報告ならびに反省事項
年長（きく）組担任 岩松 紗恵 教諭

4、質疑応答（意見交換）

5、まとめ
妻ヶ丘中学校 阿部 健二 教諭

6、閉会のことば 司会者



<ふせんの使い方>

※書いたら公開保育終了までに模造紙に貼ってください。

- ① ピンク → 保育の中で子どもの様子や先生の声かけ、援助、環境構成などで、“いいね！”と思ったことを一つ書いてください。（必ず一つは書いて頂けると嬉しいです!）
- ② 黄色 → 保育や指導案の内容等、“もう少し詳しく知りたい”、“聞いてみたい”ことがあったら書いてください。
- ③ 緑(水)色 → 造形活動をする上で日頃悩んでいること等ありましたら書いてください。

《MEMO》